



## 目 次

- 第6回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議開催される
- [第105回国立大学法人10大学理学部長会議開催される](#)
- [理学院化学専攻の取組が「魅力ある大学院教育」イニシアティブに採択される](#)
- [「キャンパスグリーンディ」を実施](#)
- [北大祭「理学展」開催](#)
- [生命理学部門 龔 劍萍 教授が「高分子学会賞」を受賞](#)
- [平成19年度理学部物理学科第3年次編入学学生募集について](#)
- [平成19年度大学院理学院学生募集について](#)
- [外国の研究機関との共同研究](#)
- [国際会議・シンポジウムの開催](#)
- [外国人研究者受入状況](#)
- [海外からの来訪者\(短期滞在\)](#)
- [学位授与 平成18年6月30日付け学位授与者](#)
- [新任教員紹介](#)
- [人事異動\(非正規職員\) H18.4.2~H18.7.1](#)
- [理学研究院・理学院・理学部 各種委員会名簿](#)
- [行事予定\(平成18年7~12月\)](#)

## 第6回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議開催される

第6回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議が、5月11日、山形大学の当番で開催されました。

協議事項として、

1. 行政改革の重要方針に基づく人件費の削減について

2. 教員組織について
3. 大学院教育振興施策要項への対応について

等について、活発な意見、情報交換が行われました。

[目次TOP^](#)

## 第105回国立大学法人10大学理学部長会議開催される

第105回国立大学法人10大学理学部長会議が、5月25日（木）、九州大学の当番で開催されました。

文部科学省から、次の説明がありました。

1. 第3期科学技術基本計画の実施に向けて
2. 大学の教員組織の在り方
3. ポスト「21世紀COEプログラム」

引き続き、協議題に入り、

1. 全国紙（朝日新聞）からの科学記事の消失
2. 「にせ科学」の蔓延に対する提言等について
3. 大学の教員組織の在り方（学校教育法の一部改正）への対応について

承合事項として、

1. 大型実験装置等の概算要求について
2. 博士課程の学生充足率について
3. 科学者の不正防止策への対応について
4. 技術職員による研究支援体制について

等について、活発な意見、情報交換が行われました。

## 理学院化学専攻の取組が 「魅力ある大学院教育」イニシアティブに採択される

文部科学省の平成18年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブの審査結果が公表され、本学からは、人社系1件及び理工農系1件の合計2件が採択されました。

「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的として平成17年度から実施されました。全国の国公立大学等から応募のあった129大学268件のうち、35大学46件が採択されました。本学での取組は、昨年度5件（理学院量子理学専攻・宇宙理学専攻・自然史科学専攻・数学専攻共同プロジェクトの平成18年度継続を含む）、今年度2件の合計7件となりました。

平成18年度採択の本学2件は次のとおりです。

申請分野	教育プログラムの名称	研究科等・取組実施担当者
人社系	応用倫理研究教育プログラム	文学研究科 教授 中戸川 孝治
理工農系	高邁なる大志を抱いたT型化学者養成	理学院 教授 鈴木 孝紀

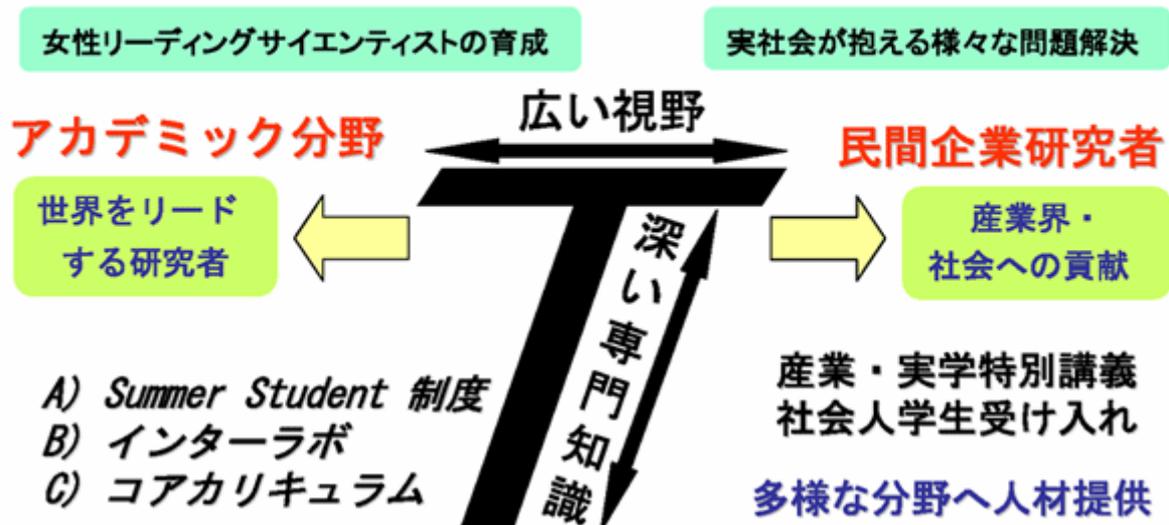
以下、理学院化学専攻の取組の概要を説明します。

### 高邁なる大志を抱いたT型化学者養成

理学院・化学専攻 教授 鈴木孝紀

理学院化学専攻では、博士課程において、アカデミック分野、民間企業研究者、いずれでも活躍できる人材の育成を強化するため、「T-type Chemists with Lofty Ambition」プログラムを提案し、社会のニーズに迅速に応え、自ら積極的に解決策を見出すことのできるT型人材育成を進める。特に、高邁な大志と高尚な倫理観を抱いて、高度情報化国際社会の中でサステナブルケミストリーを拓き、地球環境問題やエネルギー問題にチャレンジする人材育成がこの取組の目指すところである。

# “ T-type Chemists with Lofty Ambition ”



3つの主要な取組のうち、A) Summer Student制度では、海外短期共同研究のための国際派遣、包括連携公的研究所や企業研究所への国内派遣により、国際性・独創性や技術力の涵養を主目的として応用力を養う。その際、男女共同参画社会の観点から女性リーディングサイエンティストの育成を積極的に推進するため、選抜では男女を同数として女子学生に魅力ある仕組みを作る。また、サマースクールを大学院生の主導で開講し、指導力やリーダーシップを養う。

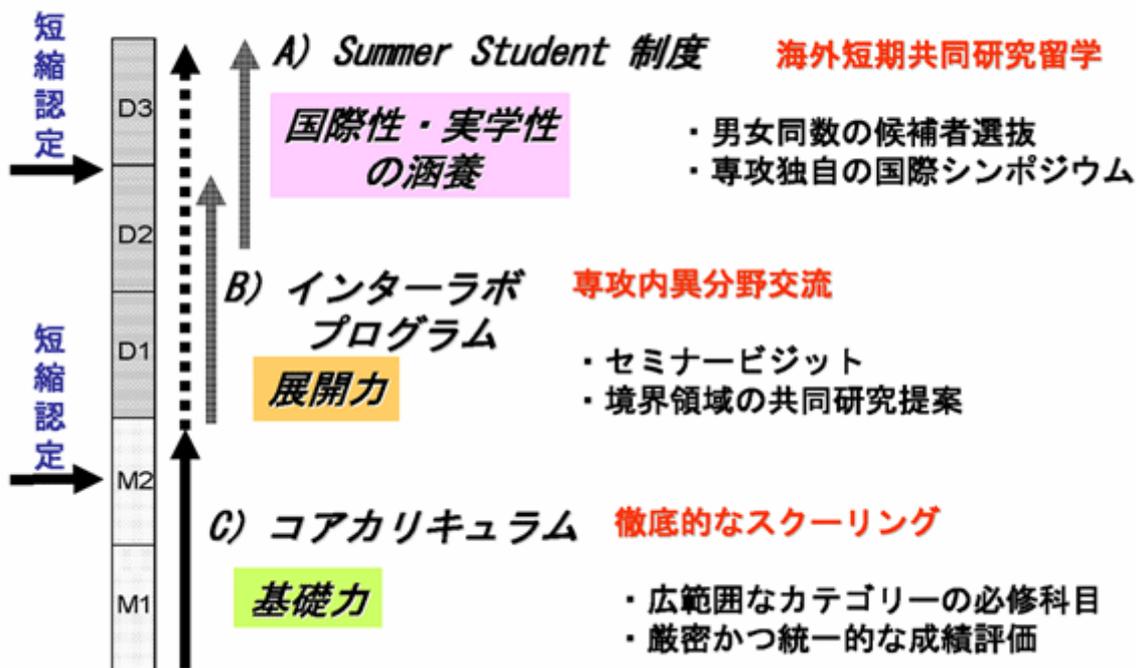
専攻内異分野交流を活用する、B) インターラボでは、専門分野の知識をベースに異分野の先端課題について共同研究計画を提案し、大学院生間で議論し批評し合い、学生相互による研究能力の評価を行う。特に優れた独創的提案は表彰し、RAに採用し、その大学院生の責任で研究を実施する権限を与える。それに先立つセミナービジットは、学際領域の知識の修得に役立つ。

以上は博士後期課程学生を対象とする取組みである。

修士課程学生には、充実した基礎学力を身につけさせるため、C) コアカリキュラムを整備して徹底的なスクーリングを行う。英語による授業を拡充し、広い分野について「基礎先端講義」

「先端講義」を選択必修科目として開講し、統一的な成績評価基準を導入する。これらと平行して、社会が求める化学者像を理解し、実社会のニーズに即応して取組む力をつけるため、トップ企業人や公立研究所から講師を招き、より充実した「産業・実学特別講義」を開講する。これらの教育プログラムを通じて、大学院生は、たとえば「持続可能な開発」に貢献する化学の必要性や、現在活発に発展している学際領域分野、今後の研究分野の動向などを、より早い段階で自らの問題として認識できる。

## T型化学者養成の為の具体的な教育取組プログラム



## 「キャンパスクリーンデイ」を実施

札幌キャンパスを対象とした全学一斉の構内清掃作業「キャンパスクリーンデイ」が、平成18年4月26日（水）に実施され、理学部でも多くの教職員・学生が参加しました。

「キャンパスクリーンデイ」は、「市民の美しい憩いの場」である北海道大学キャンパスの環境保全事業の一環として、例年実施されているものです。

汗を拭きながら、鉄屑・廃材と変わり果てた放置自転車や雪害等により折れてしまった樹木の枯枝等を運ぶ教職員の姿が目を引きました。

本年は学生さんの参加が残念ながらやや少なかったように思いますが、本「キャンパスクリーンデイ」のとりくみは、単なる「ゴミ拾い作業」に留まらず、北海道大学全体の環境意識向上を目的としており、教育上も有意義と考えられておりますので、次年度以降に向けて、教員をはじめとする関係各位の一層の指導が期待されています。

(会計係)

## 北大祭「理学展」開催

本年も6月1日（木）～4日（日）の間に開催された北大祭の一環として、「理学展」が実施された。

実験の成否に一喜一憂する子供たちと一緒にあって童心に返ったような親の笑顔が印象的であった。模擬店が目立つ大学祭のなかで、体験実験を主体とする理学展のとりくみは、「理科ばなれ」が懸念されている昨今、特に期待が高まっている。

貴重な土日に本企画に携わった学生諸君及びお世話くださった学生委員をはじめとする教員各位に敬意を表する。

以下に、各学科の企画内容（テーマ）を紹介する。

### 物理学科

- 190℃の世界、
- 磁性スライム、マイスナー効果、
- ペットボトルロケット

### 化学科

- 196℃の世界、
- 消える!? 出てくる!? ,不思議な絵、
- コンピュータで見る分子の世界、
- 光の不思議、手作り電池不思議発見、
- 酵素と天然色素のエキシビジョン、
- 科学捜査をしてみよう

### 生物科学科（高分子機能学）

- 固体? 液体? -スライムの化学、
- 人工イクラを作ろう!、
- 形状記憶ゲル、高強度&低摩擦ゲル、
- 洗濯のりからプラスチックを作ろう
- ☆、
- クロマトグラフィーによる色素の分離、
- 砂糖を使ったミラクルシャボン玉、
- ああ冷たい!? ~-200℃の世界~、
- 光のマジック!
- 光の万華鏡とブラックウォール-

## 大学院理学研究院生命理学部門 龔 劍萍 教授が「高分子学会賞」を受賞

「複合系秩序構造を持つ電解質ゲルの創製とその物性に関する研究」により、龔教授が「高分子学会賞」(科学)を受賞し、5月25日、名古屋国際会議場で開催された第55回高分子学会年次大会の中で授賞式が行われました。

同賞は、我が国の高分子科学および技術の進歩を図るため、高分子科学、技術に関する独創的かつ優れた業績を挙げた会員を対象に、その功労を顕彰することを目的に制定しています。



龔教授は、「高分子電解質ゲルに関する基礎物性研究」「秩序構造を持つ電解質ゲルの創製と水の役割」「ダブルネットワーク構造を持つ超高強度ゲルの創製と人工軟組織への応用」などの業績を上げ、複雑系である生体軟組織を高分子ゲルという物質系に写し取り、生体組織の持つ秩序・複合構造の役割やその優れた機能発現の原理を、物質科学の立場から理解するための基本的な考え方を提示しました。世界に先駆けて開拓したこの独創的な方法論は、物質科学から生命科学へアプローチする手本となりうるものです。これらの研究成果により、将来、ソフト&ウェット型の人工臓器の開発のみならず、生体類似の輸送・循環システムの設計・構築の上でも貢献すると認められたことが、今回の受賞につながりました。

「研究が高く評価され、大変うれしく思っています。若い学生たちが努力してくれた結晶でもあり、研究室を代表して私がいただくと考えています。また、この賞の科学部門では女性で初の受賞とのことですので、ほかの皆さんの励みになればとも思っています」と、龔教授は受賞の感想を話しています。

現在、大きな注目が集まっている生命科学の分野で、さらなる活躍に期待が集まっています。

## 平成19年度理学部物理学科第3年次編入学学生募集について

平成19年度物理学科編入学学生募集が次のとおり実施され、15名の出願者があった。

1. 願書受付期間：平成18年6月30日（金）～7月7日（金）
2. 入学試験日：平成18年8月4日（金）
3. 募集人員：若干名
4. 合格発表：平成18年8月31日（木）16：00頃

## 平成19年度大学院理学院学生募集について

平成19年度（平成18年10月入学を含む）理学院入学学生募集が次のとおり実施される。

1. 願書受付期間 : 平成18年7月14日（金）～7月20日（木）
2. 入学試験日 : 平成18年8月23日（水）～8月25日（金）
3. 合格発表 : 平成18年8月31日（木）15：30頃
4. 入学定員及び出願状況 :

専攻	修士（博士前期）課程		博士後期課程	
	入学定員	出願者数	入学定員	出願者数
数 学	46	〈1〉 54	17	〈1〉 2
化 学	56	〈1〉 72	22	〈3〉 5
量子理学	24	31	10	4
宇宙理学	18	30	8	7
自然史科学	39	49	20	〈1〉 14
生命理学	20	28	8	2
合 計	203	〈2〉 264	85	〈5〉 34

※ 上段〈 〉は、平成18年10月入学の出願者で外数。

## 外国の研究機関との共同研究

理学研究院 化学部門 教授 魚崎 浩平

共同研究名

【日本学術振興会事業】

新規デバイスのための固体表面への分子およびナノクラスターの集積

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名 (実施期間)

韓国・高麗大学・教授・LEE, Chi-Woo (2004.7.1-2007.6.30)

## 国際会議・シンポジウムの開催

2006.4.1-2006.7.31

会議等名	主催団体	開催期間	開催地(会場)	出席人数	世話教員
IUPAC天然物国際会議 札幌ポストシンポジウム “Recent Progress in Natural Products Chemistry and Chemical Biology”	大学院理学研究院	平成18年7月 29日(土) ～30日(日)	北海道大学 学術交流会館	150名	化学専攻 教授 及川英秋
21世紀COE 北海道大学・東京大学・京都大学・琉球大 学 4拠点合同公開シンポジウム 「多様性と自然史 －地球と生物の相互関係－」	北海道大学・東京大学・ 京都大学・琉球大学 21世紀COE 共催	平成18年7月 28日(金) ～29日(土)	北海道大学 理学部5号館 大講堂	60名	自然史科学専攻 教授 馬渡駿介
5th Biennial Workshop on Subduction Processes emphasizing the Japan-Kuril-Kamchatka- Aleutian Arcs (JKASP-5)	大学院理学研究院 (地震火山センター・ 自然史科学専攻) 特定領域研究スタグ ナントスラブ・北海 道立地質研究所・札 幌管区气象台 共催	平成18年7月 9日(日) ～14日(金)	北海道大学 学術交流会館 十勝岳巡検	100名	地震火山研究観測 センター 教授 笠原 稔 自然史科学専攻 教授 中川光弘

## 外国人研究者受入状況

期間：平成18年4月1日～7月31日

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (経費等・受入教員)
<b>(受入れ部門名：化学)</b>		
2004. 5.28 -2006. 5.27	カナダ・オンタリオ州： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Deyu,Qu	金表面への有機薄膜の構造制御成長に関する研究業務 (日本学術振興会事業・魚崎 浩平)
2006. 5. 1 -2007.03.18 <del>2008.04.30</del> (H20.6.10修正)	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす分子内相互作用の効果に関する研究業務 (日本学術振興会事業・魚崎 浩平)
2006. 7. 1 -2007. 3.31	カナダ・オンタリオ州： 大学院理学研究院・学術研究員 Deyu,Qu	金表面への有機薄膜の構造制御成長に関する研究業務 (北海道大学・魚崎 浩平)
<b>(受入れ部門名：自然史科学)</b>		
2006. 4. 1 -2006. 7.31	ロシア連邦・カムチャッカ州： ロシア科学アカデミー・地球物理調査局 カムチャッカ支部 地震活動監視部門 部門長 Vadim Saltykov	高周波地震動による地殻応力変動の監視と地震活動の関連に関する共同研究 (北海道大学・笠原 稔)
2006. 6.22 -2006. 7.12	イギリス・ロンドン： Natural History Museum・Senior Researcher (イギリス自然史博物館・上級研究員) Paul David Taylor	COE「新・自然史科学創成」の研究課題に関する共同研究・打合せ、採集・現場調査など (21世紀COEプログラム経費・馬渡 駿介)
2006. 7. 4 -2006. 7.30	フランス・マルセイユ： CEREGE, CNRS / Universite Aix Marseille III・Directeur de Recherche (マルセイユIII大学 地質環境研究セン	COE「新・自然史科学創成」の研究課題に関する共同研究およびシンポジウムでの講演 (21世紀COEプログラム経費・岡田 尚武)

	ター(CNRS)・研究科長 Luc Beaufort	
2006. 7.14 -2006. 8.18	韓国・ソウル： Seoul National University・ Professor (ソウル大学・教授) Kuh Kim	COE「新・自然史科学創成」の研究課題に関する共同研究およびシンポジウムでの講演 (21世紀COEプログラム経費・見延 庄士郎)
2006. 7.22 -2006. 9.16	ドイツ・イエナ： Friedrich-Schiller-University Jena Full Professor Falko LANGENHORST	珪酸塩ペロブスカイトにおける元素の分配と置換のメカニズムに関する共同研究 (日本学術振興会事業・藤野 清志)
<b>(受入れ部門名：生命理学)</b>		
2005.10. 6 -2006.10. 5	中国 杭州市： 理学研究院・博士研究員 杜 焱, 王 萍, 楊 怡	21世紀COEプログラム「バイオとナノを融合する新生命科学拠点」に関する研究 (21世紀COEプログラム経費 ・グン 劍萍, 浦野 明央, 小池 達郎)
2006. 2.24 -2007. 2.23	中国： 長江大学・教授 Chen, Daqing (陳大清)	研修 (国際協力銀行「対中国円借入人材育成事業」 ・山本興太郎)

## 海外からの来訪者(短期滞在)

期間：平成18年4月1日～7月31日

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 (受入教員)
<b>(受入れ部門名：数学)</b>		
2006. 4. 3- 4. 7	フランス：CNRS (フランス国立科学研究センター) 教授 Jean Paul Brasselet	同変オイラー標数積分・チャーン類理論とその関連分野に関する研究打合せ (大本 亨)
2006. 5. 9- 5.18	ドイツ：Mathematical Institute of the Academy of Sciences of Czech Republic 研究員 Hong Van Le	Floerホモロジー、特異点と変形理論に関する研究打合せ (小野 薫)
2006. 6.14	アメリカ：Stony Brook University 教授 Leon Takhtajan	セミナーでの講演「Determinants of Laplace operators on Riemann surfaces and Kronecker limit formulas」と研究打合せ (澁川 陽一)
2006. 6.25- 7. 8	韓国：Yensei University 研究員 Mourad Sini	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-(逆問題)」に出席し、学術動向等に関する調査研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.26- 7.10	中国(香港)：香港中文大学 教授 Zou Jun	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.29- 7.10	ロシア：Joint Institute for Nuclear Research 教授 Boris Zakharev	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.29- 7.13	アメリカ：ウィチタ大学 教授 Victor Isakov	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.30- 7. 7	オーストリア：ヨハネス・ケプラー大学	研究集会「Inverse Problems in Applied

7	教授 Heinz Engl	Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.30- 7. 9	フランス : オルレアン大学 助教授 Pham Ngoc Dinh	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.30- 7. 9	アメリカ : シンシナティー大学 教授 Charles Groetsch	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 6.30- 7.15	ドイツ : Universität Göttingen 教授 Roland Potthast	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 5	アメリカ : ワシントン大学 教授 Gunther Uhlmann	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 8	アメリカ : ワシントン大学 講師 Xiaosheng Li	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 8	イタリア : ミラノ大学 教授 Alfredo Lorenzi	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 8	イタリア : ミラノ工科大学 PD Michele Di Cristo	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-) への参加と 「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な 数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)

2006. 7. 1- 7. 8	オーストリア：ヨハネス・ケプラー大学 助手 Martin Burger	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 8	ドイツ：エルランゲン大学 助教授 Barbara Kaltenbacher	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 1- 7. 8	中国：復旦大学 講師 Wang Shengzhang	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 7	アメリカ：パデュー大学 教授 Plamen Stefanov	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 8	韓国：Kyung Hee大学 教授 Woo Eung Je	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 8	中国：西安交通大学 教授 Ma Yichen	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 8	台湾：中山大學 講師 jia Xianzheng	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 8	フランス：Ecole Polytechnique フランス理工科学学校 教授 Ammari Habib	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な

		数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：カンナン師範学院 教授 Luo Xingjun	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：吉林大学 教授 Ma Fuming	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：山東理工大学 教授 Li Gongsheng	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：東華理工学院 教授 Xu Dinghua	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：南京大学 教授 Huang Sixun	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：南京大学 助教授 Fang Hanxian	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	中国：復旦大学 教授 Tang Yong Ji	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7. 9	フランス：Ecole Polytechnique フランス理工科学学校	研究集会「Inverse Problems in Applied Sciences-towards breakthrough-」への参加と

	ポスドク研究員 Mikyoung Lim	「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7. 2- 7.16	台湾：中正大学 助手 Ching-Lung Lin	「MRE法による生体内部の仮想的触診に不可欠な数理解析法の確立に向けて」に関する研究打合せ (中村 玄)
2006. 7.10- 7.12	アメリカ：ハワイ大学 教授 A. Mader	セミナーでの講演と「統計学への応用を目指した代数学と組合せ論の研究」に関する研究打合せ (吉田知行)
2006. 7.14- 8. 2	イギリス：Cardiff University 講師 Mykola Leonenko	予測理論的新手法およびタウバー型定理の展開と記憶を持つ確率過程の確率解析への応用に関する研究打合せ (井上 昭彦)
2006. 7.17- 7.23	アメリカ：Northeastern University 教授 David Massey	「同変オイラー標積分・チャーン類理論とその関連分野」に関する研究打合せ (大本 亨)
2006. 7.23- 8. 5	ドイツ：Eindhoven University of Technology ポスドク研究員 Matthias Roger	第31回偏微分方程式論札幌シンポジウムへの参加と講演、非平衡界面現象における表面張力とその相互作用に関する研究打合せ (利根川 吉廣)
2006. 7.24- 7.28	中国：Department of Mathematical Sciences Tsinghua University 教授 Jian Zhou	研究集会「Workshop on Mathematical Aspects of Topological Strings」への参加と講演「Some open Gromov-Witten invariants of the resolved conifold」 (秦泉寺 雅夫)
2006. 7.31- 8. 4	ロシア：Departamento de Matematicas, Universidad de Los Andes 助教授 Andrei Giniatoulline	第31回偏微分方程式論札幌シンポジウムへの参加と講演「Spectral properties of the operators generated by PDE systems of stratified and compressible fluids」 (小澤 徹)
2006. 8. 1- 8. 4	アメリカ：Department of ComputerScience Wake Forest University 教授 Bob Plemmons	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と講演 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 6	カナダ：Dept.of Mathematics, The National University of Singapore 助教授 Ping Lin	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と講演「A energy-law preserving C0 finite element method for singularity dynamics in liquid crystal flow」 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 6	ウクライナ：Dept.of Mathematics,Universiti Brunei	研究集会「The Second East Asia SIAM Symposium」への参加と講演

	Darussalam 助教授 Viktor Didenko	(坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Department of Mathematics Seoul National University 教授 Dongwoo Sheen	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	韓国 : Korean Advanced Institute of Science & Technology 韓国科学技術院 助教授 Chang-Ock Lee	研究集会「The First China-Japan-Korea Joint Conference on Numerical Mathematics」への参加と講演 (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	中国 : Institute of Computational Mathematics Chinese Academy of Sciences (中国科学院) 研究員 Zhong-Ci Shi	研究集会「第31回偏微分方程式論札幌シンポジウム」への参加と講演「Low order quadrilateral finite elements for Reissner-Mindlin plate model」と研究打合せ (坂上 貴之)
2006. 8. 1- 8. 8	フィンランド : Dept.of Mathematics, University of Joensuu ポスドク研究員 Katya Krupchyk	研究集会「第31回偏微分方程式論札幌シンポジウム」への参加と講演「Elliptic overdetermined boundary problems」と研究打合せ (小澤 徹)
<b>(受入れ部門名 : 化学)</b>		
2006.5.11	台湾 : 台湾交通大学 Prof. Yuan-Pern Lee (李遠鵬)	表敬訪問 (魚崎 浩平)
<b>(受入れ部門名 : 生命理学)</b>		
2006. 5.31- 6. 4	スペイン : Polytechnic University of Cartagena Prof. Toribio Fernandez Otero	国際シンポジウムにて講演 : "Giant Non-Stoichiometry in Conducting Polymers. Simultaneous Sensing and Tactile Polymeric Actuators and Devices." (グン 剣萍)

## 学位授与

平成18年6月30日付け学位授与者（5名）

### （課程博士）

永田和広（物理学専攻）

Dirac-Kähler Twisted Supersymmetry on a Lattice: Formulations with 8 and 16 supercharges

（主査：河本 昇 教授）

佐波瑞恵（地球惑星科学専攻）

2000年有珠山噴火に伴う地熱系発達過程の研究

（主査：茂木 透 教授）

### （論文博士）

谷口博基（物理学専攻）

Isotope Effect on the Soft Mode Dynamics of SrTiO<sub>3</sub>, Studied by Raman Scattering

（主査：小野寺 彰 教授）

西村裕一（地球惑星科学専攻）

津波堆積物の認定とその地震学・火山学的意義

（主査：谷岡勇市郎 助教授）

森 濟（地球惑星科学専攻）

20世紀の有珠山噴火後の地殻変動と中長期的前兆地殻変動の特性

（主査：笠原 稔 教授）

## 新任教員紹介

すみ とも ひで ひこ  
住 友 秀 彦

(生命理学部門－基礎科学S-cubic－特任教授)

(平成18年6月1日配置換：本学創成科学共同研究機構から)



最終学歴：昭和45年3月北海道大学大学院工学研究科  
応用物理学専攻修士課程修了，学位：博士（工学）

略歴：昭和45年4月新日本製鐵(株) 研究員～部門長，  
平成10年5月(株)超高温材料研究センター グループ長～参与，  
平成16年9月北海道大学創成科学共同研究機構 科学技術振興  
研究員～学術研究員，平成18年4月同機構特任助教授

専門分野：金属組織学・鉄鋼材料学

## 人事異動〈非正規職員〉 H18.4.2～H18.7.1

(採用, 配置換, 転入)

H18. 4.17	生命理学部門	事務補佐員	水 口 由 枝
H18. 4.17	地震火山研究観測センター	技術補助員	本 谷 義 信
H18. 4.17	物理学部門	学術研究員	勝 田 豊
H18. 4.17	物理学部門	学術研究員	山 田 志真子
H18. 4.20	生命理学部門	事務補佐員	津 嶋 美 紀
H18. 5.15	自然史科学部門	学術研究員	野 沢 貴 也
H18. 6. 1	地震火山研究観測センター	非常勤研究員	長 谷 英 彰
H18. 6. 1	地震火山研究観測センター	技術補助員	青 池 友 子
H18. 6. 1	生命理学部門	特任教授	住 友 秀 彦
H18. 6. 1	生命理学部門	事務補佐員	矢 沢 丈 美
H18. 6. 1	生命理学部門	事務補助員	根 本 愛
H18. 6.26	生命理学部門	事務補助員	松 浦 寛 乃
H18. 7. 1	物理学部門	博士研究員	鈴 木 隆 介
H18. 7. 1	化学部門	学術研究員	Q u D e y u

H18. 7. 1	大学院教育係	事務補助員	菊池美佐紀
--------------	--------	-------	-------

**(任期满了退職, 辞職, 転出)**

H18. 4.30	数学COE	事務補助員	伊川美奈子
--------------	-------	-------	-------

H18. 5.31	会計係	事務補助員	飯島 薫
--------------	-----	-------	------

H18. 6. 8	庶務係	事務補助員	浅沼 貴 恵
--------------	-----	-------	--------

H18. 6. 9	バイオとナノCOE	事務補佐員	澤岡 徳 行
--------------	-----------	-------	--------

H18. 6.30	大学院教育係	事務補助員	藤井 ひとみ
--------------	--------	-------	--------

H18. 6.30	数学部門	学術研究員	Martijn.van.Manen
--------------	------	-------	-------------------

## 理学研究院・理学院・理学部 各種委員会名簿

## 理学研究院 代議員会議

部 門 等	職 名	氏 名	電話番号	備 考
研究院長	教授	岡田尚武	3537	
副研究院長	教授	伊土政幸	2682	〔評議員兼務〕
副研究院長	教授	川端和重	2769	
数 学 部 門	教授	山下博	2626	
数 学 部 門	教授	石川剛郎	3728	
化 学 部 門	教授	武田定	3505	
化 学 部 門	教授	鈴木孝紀	2714	
物 理 学 部 門	教授	山本昌司	2681	
物 理 学 部 門	教授	藤本正行	3562	
自然史科学部門	教授	見延庄士郎	2644	
自然史科学部門	教授	塚本尚義	2725	
自然史科学部門	教授	林祥介	3564	
自然史科学部門	教授	片倉晴雄	2751	
生命理学部門	教授	加藤敦之	4468	
生命理学部門	教授	河野敬一	2770	
地震火山研究観測センター長	教授	茂木透	4679	

## 理学院 代議員会議

専 攻 等	職 名	氏 名	電話番号	備 考
学 院 長	教授	岡田尚武	3537	
副学院長	教授	伊土政幸	2682	
副学院長	教授	川端和重	2769	
数 学 専 攻	教授	山下博	2626	
数 学 専 攻	教授	石川剛郎	3728	
化 学 専 攻	教授	武田定	3505	
化 学 専 攻	教授	鈴木孝紀	2714	
量子理学専攻	教授	山本昌司	2681	
量子理学専攻	教授	網塚浩	3484	

宇宙理学専攻	教授	小 笹 隆 司	3587	
自然史科学専攻	教授	見 延 庄士郎	2644	
自然史科学専攻	教授	塚 本 尚 義	2725	
生命理学専攻	教授	河 野 敬 一	2770	

## 理学部 学科長会議

学 科 名	職 名	氏 名	電話番号	備 考
学 部 長	教授	岡 田 尚 武	3537	
評 議 員	教授	伊 土 政 幸	2682	
数 学 科	教授	山 下 博	2626	
物 理 学 科	教授	山 本 昌 司	2681	
化 学 科	教授	武 田 定	3505	
生物科学科(生)	教授	片 倉 晴 雄	2751	学科委員
生物科学科(高)	教授	河 野 敬 一	2770	
地球科学科	教授	日 置 幸 介	3826	

## 研究院 人事委員会

部 門 等	職 名	氏 名	電話番号	備 考
研 究 院 長	教授	岡 田 尚 武	3537	
副 研 究 院 長	教授	伊 土 政 幸	2682	〔評議員兼務〕
副 研 究 院 長	教授	川 端 和 重	2769	
数 学 部 門	教授	山 下 博	2626	
数 学 部 門	教授	石 川 剛 郎	3728	
化 学 部 門	教授	武 田 定	3505	
化 学 部 門	教授	鈴 木 孝 紀	2714	
物 理 学 部 門	教授	山 本 昌 司	2681	
物 理 学 部 門	教授	藤 本 正 行	3562	
自然史科学部門	教授	見 延 庄士郎	2644	
自然史科学部門	教授	塚 本 尚 義	2725	
自然史科学部門	教授	林 祥 介	3564	
自然史科学部門	教授	片 倉 晴 雄	2751	
生命理学部門	教授	加 藤 敦 之	4468	
生命理学部門	教授	河 野 敬 一	2770	
地震火山研究観測センター長	教授	茂 木 透	4679	

## 研究院・学院・学部 将来構想委員会

部 門 等	職 名	氏 名	電話番号	備 考
研 究 院 長	教 授	岡 田 尚 武	3537	
副 研 究 院 長	教 授	伊 土 政 幸	2682	〔評議員兼務〕
副 研 究 院 長	教 授	川 端 和 重	2769	
教 務 委 員 長	教 授	山 口 佳 三	4824	
数 学 部 門	教 授	泉 屋 周 一	4821	
化 学 部 門	教 授	坂 口 和 晴	2698	
物 理 学 部 門	教 授	野 村 一 成	4430	
自 然 史 科 学 部 門	教 授	中 川 光 弘	3520	
生 命 理 学 部 門	教 授	高 畑 雅 一	2749	
生 命 理 学 部 門	教 授	河 野 敬 一	2770	
地震火山研究観測センター	教 授	茂 木 透	4679	

## 学院 教務委員会

専 攻 名	職 名	氏 名	電話番号	備 考
委 員 長	教 授	山 口 佳 三	4824	
数 学 専 攻	教 授	神 保 秀 一	4828	
化 学 専 攻	教 授	及 川 英 秋	2622	
化 学 専 攻	教 授	加 藤 昌 子	3817	
量子理学専攻	助 教 授	三 品 具 文	3551	
宇宙理学専攻	助 教 授	倉 本 圭	3567	
自然史科学専攻	助 教 授	西 弘 嗣	3538	
自然史科学専攻	助 教 授	堀 口 健 雄	2751	
生命理学専攻	教 授	佐 々 木 直 樹	2659	

## 学部 教務委員会

学 科 名	職 名	氏 名	電話番号	備 考
委 員 長	教 授	山 口 佳 三	4824	
数 学 科	教 授	神 保 秀 一	4828	
物 理 学 科	教 授	藤 本 正 行	3562	
化 学 科	教 授	及 川 英 秋	2622	
生物科学科(生)	教 授	山 本 興 太 朗	2739	

生物科学科(高)	教授	佐々木 直樹	2659	
地球科学科	教授	池田 隆司	2756	
クラス担任代表(数学科)	教授	中村 郁	4827	
地球環境科学研究院	教授	森川 正章	2253	
地球環境科学研究院	教授	松田 冬彦	4520	
地球環境科学研究院	教授	山本 正伸	2379	
先端生命科学研究院	教授	山口 淳二	2737	

## 学院・学部 学生委員会

専攻等名	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	伊土 政幸	2682	評議員
副委員長	教授	中原 純一郎	4426	全学学生委員
数学専攻	助教授	齋藤 睦	2630	
化学専攻	教授	稲辺 保	3511	
量子理学専攻	教授	網塚 浩	3484	
宇宙理学専攻	助教授	羽部 朝男	2693	
自然史科学専攻	教授	松王 政浩	4420	
生命理学専攻	助教授	谷 知己	3666	
数学科	助教授	利根川 吉廣	3417	
物理学科	助教授	引原 俊哉	4488	
化学科	助教授	高橋 正行	3814	
生物科学科(生)	助教授	池田 亮	3482	
生物科学科(高)	助教授	古川 英光	4815	
地球科学科	教授	渡部 重十	2757	

## 研究院・学院・学部 予算委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	伊土 政幸	2682	副研究院長
数学部門	教授	山下 博	2626	
数学部門	教授	石川 剛郎	3728	
化学部門	教授	武田 定	3505	
化学部門	教授	鈴木 孝紀	2714	
物理学部門	教授	山本 昌司	2681	
物理学部門	教授	藤本 正行	3562	
自然史科学部門	教授	見延 庄士郎	2644	

自然史科学部門	教授	塚本尚義	2725	
自然史科学部門	教授	林祥介	3564	
自然史科学部門	教授	片倉晴雄	2751	
生命理学部門	教授	加藤敦之	4468	
生命理学部門	教授	河野敬一	2770	
地震火山研究観測センター長	教授	茂木透	4679	

## 研究院・学院・学部 図書委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	新井朝雄	2616	全学図書委員
数学部門	教授	林実樹廣	4822	
化学部門	助教授	大栗博毅	3429	
物理学部門	助教授	中山隆一	2696	
自然史科学部門	助教授	前田 亟	2765	
生命理学部門	助教授	福井彰雅	2773	
先端生命科学研究院	教授	高田泰弘	2742	

## 学院 入学試験委員会

専攻名	職名	氏名	電話番号	備考
学院長	教授	岡田尚武	3537	
副学院長	教授	伊土政幸	2682	
副学院長	教授	川端和重	2769	
数学専攻	教授	山下博	2626	
化学専攻	教授	武田定	3505	
量子理学専攻	教授	網塚浩	3484	
宇宙理学専攻	教授	小笹隆司	3587	
自然史科学専攻	教授	塚本尚義	2725	
生命理学専攻	教授	佐々木直樹	2659	

## 理学部 入学試験委員会

学科名	職名	氏名	電話番号	備考
学部長	教授	岡田尚武	3537	
評議員	教授	伊土政幸	2682	
数学科	教授	山下博	2626	

物理学科	教授	山本昌司	2681	
化学科	教授	武田定	3505	
生物科学科(生)	教授	片倉晴雄	2751	学科委員
生物科学科(高)	教授	河野敬一	2770	
地球科学科	教授	日置幸介	3826	

## 研究院等 安全対策委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	川端和重	2769	副研究院長
数学部門	助教授	井上昭彦	3825	
化学部門	教授	日夏幸雄	2702	
物理学部門	助教授	松山秀生	4818	
自然史科学部門	助教授	橋元明彦	3571	
生命理学部門	助教授	清水隆	4460	
地震火山研究観測センター	教授	茂木透	4679	
先端生命科学研究院	助手	比能洋	9043	
博物館	教授	高橋英樹	4508	

## 研究院 放射線障害予防安全委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
放射線取扱主任者	助教授	今川敏明	2712	
エックス線取扱主任者	教授	稲辺保	3511	
放射線取扱主任者代理者	教授	日夏幸雄	2702	
全学放射性同位元素等 管理専門委員会委員	教授	加藤敦之	4464	
化学部門	教授	日夏幸雄	2702	
物理学部門	助手	天谷健一	3500	
自然史科学部門	講師	三浦裕行	2727	
生命理学部門	助教授	角五彰	2635	

## 技術部運営協議会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
化学部門	講師	江川徹	3506	
物理学部門	助教授	小田研	3575	
自然史科学部門	助教授	栃内新	4463	

生命理学部門	教授	河野敬一	2770	
技術部	技術長	佐藤久志	5268	
技術部	技術職員	岡山宗夫	3540	
技術部	技術職員	小川正人	2662	
技術部	技術職員	熊木康裕	3572	
技術部	技術職員	野村秀彦	2735	

## 研究院・学院・学部 点検評価委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
研究院長	教授	岡田尚武	3537	
副研究院長	教授	伊土政幸	2682	
副研究院長	教授	川端和重	2769	
数学部門	教授	中村玄	3200	
化学部門	教授	喜多村昇	2697	
物理学部門	教授	熊谷健一	4422	
自然史科学部門	教授	小山順二	3526	
生命理学部門	教授	加藤敦之	4468	
事務部	事務部長	脇坂隆	2653	

## 理学研究院 受託研究等受入委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
研究院長	教授	岡田尚武	3537	
副研究院長	教授	伊土政幸	2682	
副研究院長	教授	川端和重	2769	
数学部門	教授	山下博	2626	
数学部門	教授	石川剛郎	3728	
化学部門	教授	武田定	3505	
化学部門	教授	鈴木孝紀	2714	
物理学部門	教授	山本昌司	2681	
物理学部門	教授	藤本正行	3562	
自然史科学部門	教授	見延庄士郎	2644	
自然史科学部門	教授	塚本尚義	2725	
自然史科学部門	教授	林祥介	3564	
自然史科学部門	教授	片倉晴雄	2751	
生命理学部門	教授	加藤敦之	4468	

生命理学部門	教授	河野敬一	2770	
--------	----	------	------	--

## 地震火山研究観測センター運営委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	伊土政幸	2682	副研究院長
地震火山研究観測センター長	教授	茂木透	4679	センター長
地震火山研究観測センター	教授	笠原稔	3591	
地震火山研究観測センター	教授	岡田弘	4484	
化学部門	教授	喜多村昇	2697	
物理学部門	助教授	羽部朝男	2693	
自然史科学部門	教授	小山順二	3526	

## 研究院・学院・学部 広報委員会

学科名	職名	氏名	電話番号	備考
委員長	教授	川端和重	2769	副研究院長
数学科	助教授	本多尚文	4825	
物理学科	助教授	大西明	2689	
化学科	教授	石森浩一郎	2707	
生物科学科(生)	助教授	藤田知道	2740	
生物科学科(高)	助教授	芳賀永	4909	
地球科学科	講師	遊馬芳雄	2763	

## 研究院・学院・学部 情報ネットワーク委員会

部門等	職名	氏名	電話番号	備考
数学部門	助教授	松本健司	2627	
化学部門	助教授	野呂武司	3502	
物理学部門	助教授	大西明	2689	情報基盤 全学委員兼務
自然史科学部門	助教授	永井隆哉	2732	
生命理学部門	助教授	松島俊也	3523	
地震火山研究観測センター	助手	西村裕一	4675	
情報基盤 全学委員	助教授	栃内新	4453	
				研究院長指名

## 行事予定

〈平成18年7～12月〉

月	日	曜	事 項
7	13	木	学院入学試験委員会
	13	木	研究院・学院代議員会議
	13	木	大学院入試出願資格予備審査結果通知（15：00頃）
	14	金	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学願書受付【～20日（木）】
	18	火	全学教育科目補講日【及び25日（火）～26日（水）】
	27	木	研究院教授会（13：30～）
	28	金	全学教育科目第1学期授業終了
	28	金	第2学期授業時間割（案）提出締切
	30	日	北海道大学オープンユニバーシティ
	31	月	理学部体験入学
	31	月	全学教育科目定期試験【～8月10日（木）】
	31	月	理学部・理学院夏季休業【～9月22日（金）】
8	4	金	理学部（物理学科）第3年次編入学試験
	11	金	9月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	11	金	全学教育科目第1学期追試験【～15日（火）】
	11	金	全学教育部夏季休業【～9月29日（金）】
	17	木	研究生・聴講生・科目等履修生願書受付【～23日（水）】
	18	金	学位申請（8月付託）締切
	23	水	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験【～25日（金）】
	24	木	全学教育科目第1学期定期試験及び追試験成績入力締切（正午）
	31	木	理学部学科長会議（11：00～）
	31	木	学院入学試験委員会・学院代議員会議（13：30～）
	31	木	研究院代議員会議（15：00～）
	31	木	大学院理学院修士(博士前期)課程及び博士後期課程入学試験合格者発表（15：30頃）
	31	木	研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知（16：00頃）
	31	木	理学部編入学試験合格者発表（16：00頃）
9	25	月	学位記授与式
	25	月	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～29日（金）】
	25	月	全学教育科目集中講義期間【～29日（金）】

	28	木	研究院代議員会議
	29	金	学部専門科目第1学期成績入力締切
	29	金	大学院理学院修士（博士前期）課程及び博士後期課程第2次学生募集実施申請締切
10	2	月	全学教育科目，大学院・学部専門科目授業開始
	11	水	第2学期履修届受付【～12日（木）】
	11	水	AO入試出願受付期間【～18日（水）17：15必着】
	12	木	全学教育科目追加認定試験成績締切
	26	木	研究院代議員会議
11	6	月	AO入試第1次選考結果通知
	10	金	12月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	17	金	学位申請（11月付託）締切
	19	日	AO入試第2次選考日【17日（金）午後一部休講】
	30	木	理学部学科長会議
	30	木	学院・研究院代議員会議
12	5	火	AO入試第2次選考結果通知
	8	金	AO入試合格者入学手続き期間【～14日（木）17：15必着】
	14	木	大学院第2次募集出願資格予備審査申請期間【～21日（木）】
	21	木	研究院代議員会議
	25	月	学位記授与式
	25	月	全学教育部，理学部・理学院冬季休業【～1月4日（木）】
	26	火	学位申請（1月付託）締切